

2016 年度 森泰吉郎記念研究振興基金 研究助成金
研究者育成費 博士課程
研究成果報告書

研究課題名 「企業におけるエントリー選考の実証分析」

研究代表者所属・氏名 政策・メディア研究科 後期博士課程3年 鈴木智之

1. 目的

企業における新規学卒者採用選考試験は、経団連による就職活動の解禁日の指定に伴って一時期に集中した一括採用が行われることが慣例となっている。企業では学生による求人応募が一斉に集中することから、面接対象者を事前に絞り込むことを狙って、エントリーシートと呼ばれる書面の記載・提出を求職者である学生に課し、書類選考を行うことが多い。しかし、エントリーシートによる書類選考法が有効であることを実証的に示した学術研究例は皆無であり、2000年代のはじめから問題視されている（鷺坂・二村・山岸，2001）。学生の特性を把握するための測定法として、エントリーシートによる書類選考法は精度が低く、それが産業界と学生 mismatches を生じる一つの要因になっている可能性がある。そこで、産業界と学生 mismatches の是正を視野に入れ、本研究では、エントリーシートによる書類選考法の有効性について心理統計学的手法を用いて実証的に示し、その活用法を産業界に提案することを目的とする。

2. 成果

実在する日本企業のエントリーシートデータを用いて、どのような語や修辭が採用成績と関連するかについて実証分析を行った結果、特定の語が採用成績と関連することが明らかになった。エントリーシートによる選考法を新たに提案することに成功した。本成果は、日本労務学会誌への採録論文（査読有）に詳細に記した（2016年8月号）。

3. 謝辞

森泰吉郎記念研究振興基金に深く感謝申し上げます。

以上